

富永議員（自民議連）

平成 27 年 12 月 9 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）全県的な「学びの変革」を実現するための方策について

「グローバルリーダー育成校」は、「学びの変革を先導的に実践する学校」と位置付けられ、得られたノウハウ、成果を、国・公・私立、全ての学校で共有することにより、県全体での「学びの変革」の推進、教育水準の向上を牽引する役割を担うことが期待されているが、「グローバルリーダー育成校」以外の学校に対しても、必要な支援が行われなければ、成果を他の学校へ普及させていくことはできず、県全体の教育水準の向上にはつながらないため、そうなれば、この学校の創設は「失敗」であったと受け止めざるを得ない。

この学校を「成功」へと導くためにも、他の学校への支援が必要であり、とりわけ、定時制・通信制課程に代表される「勤労青少年や高等学校の中途退学経験者、中学校時代に不登校の傾向のあった生徒など、様々な事情や背景を持った生徒への支援」や、専門学校や専門学科に代表される「ものづくり県・広島を支える人材を育む専門教育の充実」、さらには、「中山間地域や島嶼部などに所在する小規模校への支援」などについては、これまで以上に充実していくことが不可欠であると考えます。

そこで、このような児童・生徒や学校への支援も含め、全県的な「学びの変革」を実現していく観点から、今後どのように取り組んでいくつもりか、教育長に伺う。

（答）

本県で取り組んでおります「学びの変革」は、「地域の成長・発展を支える人材」や「世界を舞台に活躍する人材」など、多様で厚みのある人材層を形成することを目指しており、その実現には、「グローバルリーダー育成校」の設置のみならず、全ての子供たちの学びを支える体制を整えていくことが不可欠であると認識いたしております。

こうした中、様々な事情や背景を持った生徒の多様なニーズに対応し、多様な学び方と教育内容を提供する「フレキシブルスクール」を広島市と共同で整備することとしており、現在、平成 30 年の開校に向け鋭意準備を進めているところでございます。

また、地域産業を支える人材の育成に向けましては、複数の専門学科から

なる専門高校の新たな設置につきまして、検討を進めております。

さらに、中山間地域や島嶼部などに所在する1学年1学級規模の高等学校におきましては、学校活性化地域協議会を設置し、活性化策に取り組んでいるところであり、教育委員会といたしましても、学校活性化の取組が進められるよう、必要な支援を行っているところでございます。

「グローバルリーダー育成校」は、県全体の教育水準向上を牽引する学校であり、この学校における実践事例は、国公私立の枠を超えて、全県で共有することといたしております。

この実践事例を踏まえまして、各学校の実情に応じた「主体的な学び」が展開され、県内の全ての子供たちに「学び続ける力」を育成することができるよう、引き続き、必要な支援に努めてまいりたいと考えております。